



さんちだより

荒川区立第三日暮里小学校
発行日 令和3年6月1日
発行者 校長 末永 寿宣

6月号

学校目標
考える子
たくましい子
思いやりの
ある子

三日小の運動会

～心技体・礼儀の習得を目指す～ 校長 末永 寿宣



▲三日小マスコット「さっぴー」も応援してくれました。

保護者の皆様、地域の皆様、ご多用の中、ご参観いただきありがとうございます。そして、PTA 役員の皆様、三日メンズの方々のご協力に、心より感謝申し上げます。また、学校の周辺にお住まいの方々、連日大きな音でご迷惑をおかけしました。ご協力いただきありがとうございました。

コロナ禍での難しい状況で、今年の運動会を迎えました。昨年同様、学年ごとの開催となり、出入り等でお手数をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

子どもたちの熱中症予防のため、演目中はマスクを外し、演目の間に細目に水分補給を行うことで、熱中症を予防することができました。子どもたちの元気いっぱいの姿で、私たち大人が勇気をもらいました。

ご支援いただきました皆様に感謝の気持ちを込め、子どもたちの活躍をプログラム順に振り返ります。

6年<行進・開会式・短距離走・リレー・三日ソーラン・応援団>



姿勢を正し、整然と行進する姿は、三日小の最高学年としての風格が漂っています。

選手宣誓の音が、会場に響き渡り、6年生の代表として、頼もしい限りです。代表児童が、友だちとの絆の大切さ、運動会ができることへの感謝の気持ちを発表しました。そして最後に「コロナ禍、自分たち一人一人が強い気持ちをもって、今日参観に来られた皆さんに元気をあたえられるよう、全力で頑張りたいと思います。」と結びました。とても堂々としていて、最高学年の代表として立派でした。

三日ソーランは、躍動感ある踊りで会場を魅了しました。ハッピーの中に着ているTシャツは、「絆」の文字が描かれており、人の絆の大切さを表しています。応援団は、赤白問わず、6年生だけで構成されています。三日小の伝統を受け継ぎ、お世話になっている全ての方にエールを贈りました。



3年<三日よさこい鳴子おどり>



1年生にとって、初めての三日小の運動会でした。キラキラのポンポンを手に、リズムに合わせて元気いっぱい楽しく踊りました。

4年<心を燃やせ！FIRE FLAG>



1年生が入学して、お兄さん、お姉さんになった2年生は、学校での過ごし方がとても立派になりました。今年の表現は、タンバリンを使ったダンスを踊りました。

5年<One Heart One Mind～心をひとつに心をつなぐ～>

三日小の伝統である組体操は、コロナ禍で、仲間と一緒に手を繋ぐことはできません。しかし、どんなに離れていても、心は一つ。心と心を繋いで表現しました。「自分が今日できる精一杯のこを見つ、できるだけのことをする」「一人一人が昨日よりも輝きを放つ」ために、ここにいる全ての人たちの心を揺さぶることを目指して、演技しました。



味わうことができました。自分たちを支えてくれている家族や先生、地域の人たちに、心から感謝を伝えたいです。」と、感謝する心の大切さを後輩の5年生にしっかり引き継ぎました。

今後も、コロナ禍、熱中症対策を施しながら、子どもたちの安全・安心に努めてまいります。今後とも、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

よさこい鳴子おどりは、高知県発祥の伝統の踊りです。今回踊る「よっちょれ」は、よさこいの中でも、とびぬけて活気あふれる踊りです。大きな動きと力いっばいの鳴子の音で、よさこい祭りのにぎやかさを表現しました。

1年<Happiness 2021>



フラッグダンスに挑戦しました。2色の旗を使い、一人一人の動きが合うように、一生懸命練習しました。学年が一体となって、燃え上がる炎のようなダンスを踊りました。

2年<1・2・3～みんなのえがおをゲットだぜ>



5・6年<閉会式>

終わりの言葉では、「今まで苦手なことやできないことを繰り返し練習することが嫌いでしたが、一つ一つのことに挑戦し、できるようになることで、大きな達成感や充実感を

